

田んぼ 2030 プロジェクト 第3回ミニフォーラム

田んぼと生物・文化多様性

～世界農業遺産「大崎耕土」の

生物文化多様性を探る～



ラムネット J が展開する「田んぼの生物・文化多様性 2030 プロジェクト」では、2022 年度は文化多様性を活動目的に取り込んでいる FAO（国連食糧農業機関）の世界農業遺産に注目してミニフォーラムを開催しています。

3 回目のミニフォーラムでは、2017 年に「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的水管理システム」で世界農業遺産に認定された、宮城県大崎市の活動を取り上げます。

大崎耕土の伝統的水管理システムや、水田農業によって育まれる湿地生態系・農文化などについておふたりの講師から話をうかがい、その後、参加者のみなさんと意見交換を行います。

日時：2023 年 1 月 27 日（金）18：30～20：10
オンライン開催（Zoom ミーティング）
参加費：無料 要事前申し込み
主催：ラムサール・ネットワーク日本

※このミニフォーラムは地球環境基金の助成を受けて実施しています。
※「田んぼ 2030 プロジェクト」は以下の企業などからのサポートをいただいています。

JA 全農・コープデリ事業連合・MS&AD インシュアランスグループ

【申し込み】

下記のオンラインフォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/J4S4Upa7LRnUet3w9>



MS&AD

MS&AD インシュアランスグループ

【プログラム】

第1部 話題提供

「世界農業遺産「大崎耕土」の生物文化多様性を探る」

話題提供：

車田 敦 さん（宮城県大崎市教育委員会事務局文化財課課長補佐）

船橋玲二 さん（NPO 法人田んぼ理事長）

第2部 参加者との意見交換

■車田 敦（くるまだ あつし）

仙台市生まれ。東北学院大学文学部史学科民俗学専攻卒業。専門は民俗学、考古学。民俗学分野では東北民俗の会、考古学分野では宮城県考古学会員として研究活動をおこなっている。

2001年文化財専門職として宮城県大崎市へ入庁。当市で携わった主な業務に、古代城柵官衙遺跡「新田柵跡」の学術調査、大規模ほ場整備事業に伴う発掘調査、木造千手観音座像の国指定へ向けた文化財調査、市指定無形民俗文化財調査などがある。

2017年12月世界農業遺産に認定された「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の水管理システム」の申請の際には、文化財課業務と兼務で、申請書の原案作成から編集・執筆に係り、日本農業遺産・世界農業遺産の各種審査・現地調査の際にプレゼンテーションを担当した。GIAHS認定後もアクションプラン推進事業に関わっている。

趣味はヴァイオリンなどの音楽活動および武術太極拳の普及活動、美味しいお酒を飲み、美味しいものを食べること。



■船橋玲二（ふなはし れいじ）

ラムサール・ネットワーク日本理事・NPO 法人田んぼ理事長。宮城県大崎市に拠点を置くNPO 法人田んぼは、「大崎耕土」の世界農業遺産認定前～現在の生きもの調査や、農産物の認証制度の検討等に関わってきました。地域の大切な資源である生物多様性を育みながら、産業としての農業を支えていく世界農業遺産の取組は、持続可能な社会を目指すうえでとても大切な視点と捉え、活動しています。



【問い合わせ】

NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本
東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3F
〒110-0016

Eメール info@ramnet-j.org